

# 「いわての魅力発見」

## 「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2017」とは

昨年11月19日に岩手大学で行われた「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2017」とは、次世代を担う若者にとっては「社会に近づき、岩手という地域・産業・企業を知る」ことを、企業などにとっては「若者に親近感を持って、リアルな学生を知る」ことを目的に、県内企業や自治体、民間団体、大学・学生グループ等の活動を一堂に展示・紹介した、大交流イベントです。

メイン会場となった岩手大学第一体育館には、175ものブースを設け、それぞれの団体の魅力をプレゼンテーションしていただきました。

## 私が本当の岩手を見つける日

今、岩手県内で学ぶ学生に「岩手にある企業名を挙げてください」と問うと、一体いくつの企業を挙げられるのでしょうか。昨年、「いわてで働こう推進協議会」が行った調査によると、37%の学生が1社の名前も答えられなかったそうです。

このイベントに関わる前は、私自身もその答えられない学生のうちのひとりでした。今住んでいるこの岩手の魅力に気づかず、岩手を去ってしまうことは、とても勿体ないことだと思えます。今回、この大交流会の準備を通して、岩手にも全国を相手に事業を行っている会社がいくつもあることを実感しました。ポスターに掲げた『私が本当の岩手を見つける日』というテーマには、魅力溢れる岩手を知っ



ふるさと発見！大交流会  
in Iwate 2017  
学生実行委員会 委員長  
(岩手大学工学部4年)

大村 由莉香

てもらいたいという願いが込められています。

## 学生実行委員会の活動

私たち学生実行委員会は、岩大生4名、県大生3名、一関高専生1名で構成されています（うち女性6名）。昨年5月頃から月に2回ほどミーティングを行い、イベント名称・ロゴの作成からホームページの設置、企業紹介ページの執筆、イベントPV（プロモーションビデオ）制作、そして開催当日のスケジュール・進行などを決めていきました。

企業紹介ページの執筆では、夏休みを利用して手分けして50社ほどの企業を訪問し、実際に企業の方（社長から若手社員まで様々な方々）からお話しを聞かせていただきました。PV制作では、協力いただく企業の選出からモデル探しまで行いました。初めての開催と

いうこともあり、分からないことばかりではありましたが、運営から宣伝に至るまで様々な活動を行わせていただきました。

## 学生実行委員として活動すること

今回は、学生実行委員として活動して、人とのつながりの大切さを学びました。私が学生実行委員長をやらせていただいたのも、学生実行委員が集まったのも、人と人との繋がりがあったからであり、多くの偶然が重なってこのメンバーが集まりました。

また、企業への取材では社会人としてのマナーを学ぶことができたばかりでなく、実際に企業の方と接することでその職場の雰囲気を感じることができました。外から見ただけでは分からないことは多く、あまり知られていない企業でも素晴らしい会社はたくさんあります。

就職を考えるにあたって、自らの感覚でその職場の雰囲気や自分に合うのか合わないのかを判断することは重要であると思います。有名でなくてもそこで働いてみたいと思える会社。そのような会社を見つけるためにも、この大交流会のような企業の方と身近に接することができる機会を積極的に活用し、チャ



メイン会場となった岩手大学第一体育館の出展ブースでの大交流会の様子

ンスに変えていって欲しいと思います。

私自身も、実行委員会という運営側として参加することで、社会を身近に感じる事ができました。また、このようなイベント運営という貴重な経験をする事もできました。

## イベントを終えて

イベントを行うにあたっては、当日のスーツ着用を禁止したり、プレゼンテーション形式で行うなど、来場者だけでなく、出展いただいた企業の皆さまにも楽しんで交流いただきたいと、様々な工夫を凝ら

しました。

学生には、就職活動では知ることができないような、働くことの楽しい面を知ってもらいたいということを目標に準備をしてきました。

そして、当日の来場者数は約2000名と、とても多くの方にご参加いただきました。イベント開始のファースト・ステージから最後の抽選会まで多くの笑顔を見ることができ、達成感とともに安心感をえました。

## 毎年のイベントへ

今回の大交流イベントは県内では初めての試みでしたが、1回限りの開催にはしたくないと考えています。毎年開催することで、学生が企業の方と接する機会が増え、多くの企業を知ることができます。また、同時に企業も学生と接する機会が増えるため、今どきの学生の考えに触れることができます。

次世代を担う若者がもっと企業を知り、自らの将来を考え、どのような職に就けばやりたいことができるかということを考える機会になればと思っています。

これからも《岩手で働き、輝くために》、大交流会を通して、私たちが住んでいる岩手を、知る手助けができればと思います。